

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市沖野デイサービスセンター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 4,172人（前年度比97.9%） 令和元年度 4,263人（前年度比84.5%） 平成30年度 5,046人（前年度比95.4%）
	《事業》 市内に住所を有する身体が虚弱なため日常生活を営むことに支障がある方に対し、通所介護、第一号通所事業等のサービスを提供し、便宜を供与する。
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない。 ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円）
	《収入》 ・ 介護保険収入 39,197千円 （35,316千円） ・ その他収入 10千円 （ 75千円）
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、意見箱の設置、連絡帳の活用などにより、利用者及び利用者家族の要望などを把握し、事業運営を行った。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	30/30
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。 また、利用者の意見や苦情に対し、対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、意見箱の設置、連絡帳の活用等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。	28/28

<p>V 施設固有の基準</p>	<p>介護技術向上のための定期的な研修や、職員間での情報交換など、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。</p> <p>また、関係機関と連携して定期的に会議を開催し、日常的な連携体制を構築しており、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。</p>	<p>8/8</p>
------------------	--	------------

三 評価総括

<p>《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会事業協会）による自己評価》</p>	
<p>施設の目的や基本方針等館内に掲示し、利用者に周知した。また、毎月の事業所会議等で重点目標を全職員間で共有した。</p> <p>管理運営については、適正な予算管理に努め、業務省力や経費節減等について職員間で周知して取り組んだ。また、節電やリサイクル等、仙台市環境行動計画に則った取り組みを継続したほか、設備の保守点検や清掃、環境整備に努めた。</p> <p>リスクマネジメントの取り組みとして、感染症予防に必要な備品・設備導入により感染症予防対策を徹底した。また、勉強会を開催し職員や利用者への啓発を行った。</p> <p>個人情報保護については、管理体制・セキュリティ対策を構築し、研修等の機会等を通して職員への啓発を行った。</p> <p>事故発生時には報告書を作成して職員間で共有し再発防止に取り組んだほか、防災訓練を2回実施した。</p> <p>また、サービスの質の向上に向け、利用者アンケート、連絡帳、担当ケアマージャーからの情報提供等を通してニーズや課題を把握し、事業運営に反映するよう意識して取り組んだ。</p> <p>そのほか、バイタル測定結果について、介護保険用記録ソフトとタブレット等のシステムに連動させ、職員間での情報共有と記録業務の省力化を図った。また、オンライン研修会等の機会を活用し、伝達研修や復命書で職員間で共有しスキルアップに努めた。</p> <p>広報活動では、広報誌を町内会や近隣の商店、関係機関に配布したほか、ホームページにセンターのブログを定期掲載して企画事業等のPRに努めた。</p>	

<p>《施設設置者（仙台市）による評価》</p>	<p>総合評価</p>
<p>令和2年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>外部研修の機会が減る中、オンライン研修会を積極的に開催するなど、職員の資質向上について意欲的に取り組んでいる。事故再発防止については、リスクマネジメント委員会を開催し、検討した内容を職員間で共有するなどの取り組みを行っている。</p> <p>また、サービスの向上に向け、意見箱の設置、連絡帳の活用などにより、利用者及び利用者家族の要望を把握し、サービスに反映させるなど、利用者本位の運営に取り組んでいる。</p> <p>そのほか、介護保険用記録ソフトやタブレットを活用し、職員間での利用者情報の共有やケア記録システムとの連動を行うなど、ICT化にも力をいれており、総合的に高く評価できる。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

<p>特記事項</p>
<p>「業種別ガイドライン」に基づき、感染症対策を徹底していたが、令和3年1月に感染患者が発生し、休館措置を講じた。再開後は感染症対策を再度徹底し、感染拡大防止に留意した施設運営を行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課